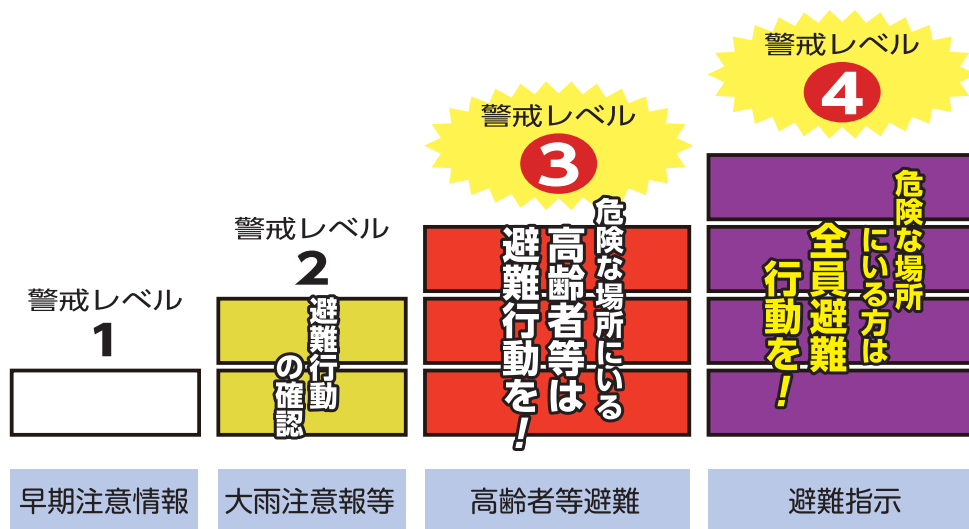


避難の情報

! 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

! 危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉、警戒レベル4で〈全員避難〉です。

- 危険な場所とは、家屋の床面の高さよりも深い浸水想定(予想)区域に指定されている場所や土砂災害警戒区域等に指定されている場所などです。
- 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市(※)が避難情報と合わせて出す情報です。

※レベル2以下は気象庁が発表

! 警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

- 警戒レベル5が出てまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るために最善の行動をとってください。
- 警戒レベル5 緊急安全確保は、災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

! 豪雨時の立退き避難は危険を伴います。車での移動も控えましょう。

! 可能なら、警戒レベル4の時点で危険な場所から全員避難しましょう。

- 警戒レベル4 避難指示は立ち退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

! 身の危険を感じるなど、その場所に留まることが危険と自ら判断した場合は、警戒レベルに関わらず自主的に避難を開始しましょう。

例えばこんなとき…

- 軽微な浸水・浸食等を発見した場合
- 近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生した場合
- 土砂災害の前兆現象(湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等)を発見した場合